【タイトル（和文）】

【タイトル（英文）】

【著者名（和文）】

【著者名（英文）】

【所属機関名】

【所属機関住所】〒

【連絡者e-mailアドレス】

【キーワード（和文で5件以内）】

【和文要旨（600字以内）】

【本文】

文献

1）

2）

3）

**文献の記載方法は以下を参照してください**

・雑誌の場合：著者名．表題．雑誌名．発行年；巻：通巻始ページ–通巻終ページ.

・単行本の場合：著者名．書名．版数．発行社の所在地名：発行社，発行年．

書籍の場合：著者名．書名．版数．発行社所在地名：発行社，発行年（西暦）.

・分担執筆による単行本の中の分担部分の引用の場合：著者名．分担執筆部分の表題．編集者名．書名．版数．発行社の所在地名：発行社，発行年：分担部分の最初ページ．最終ページ．

・雑誌名は，その雑誌指定の略名がある場合はそれを用い，ない場合は Index Medicusあるいは医学中央雑誌の収載誌略名を用いること。

・発行年は西暦を用いること。

・著者名は，3名までは全員を記載する。4名以上の場合は最初の3名を記載し，「，他」あるいは外国語文献の場合は「, et al」を付する。

・ウェブページの場合：著者名（判れば）．“Web ページの題名”．Webサイトの名称，入手先URL,（参照日付）．とする。

・実例

1）Fujisawa K, Tani P, McMillan R, et al. Platelet-associated antibody to glycoprotein IIb/IIIa from chronic immune thrombocytopenic purpura patients often binds to divalent cation-dependent antigens. Blood. 1993;81:1284–1289.

2）内田満夫, 金子　稔, 山本　洋, 他. 我が国におけるインフルエンザ（H1N1）2009に対する学校閉鎖の効果. 日衛誌. 2013;68:103–117.

3）Cohen MM. The child with multiple birth defects. New York: Raven Press; 1982.

4）大西弘高. アウトカム基盤型教育の歴史, 概念, 理論. 田邊政裕編. アウトカム基盤型教育の理論と実践. 東京: 篠原出版新社; 2013. p. 3–38.

5）Dorken B, Moller P, Pezzuto A, et al. CDw75. In：Knapp W, Dorken B, Gilks WR, et al, eds. Lymphocyte typing IV： white cell differentiation antigens. New York: Oxford University Press; 1989. p. 109–110.

6）日本小児内分泌学会のホームページ. http://jspe.umin.jp/medical/taikaku.html（2015年5月1日参照）．

【図表説明（図，表は1点400字換算とする）】

図1／表1

図2／表2